

令和2年度 岐阜県農薬管理指導士認定試験問題

指示があるまで開けてはいけません

【 注 意 事 項 】

- 1 問題は、40問あります。
- 2 設問ごとに答えを一つ選んで、その番号を各問題右下の□に記入してください。
- 3 □に、選択肢の1～4以外の番号を記入した場合及び1～4の番号を2つ以上記入した場合は「無効」となります。
- 4 問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- 5 問題は、3ページから19ページまでです。落丁、印刷ミス等がある場合は挙手してください。
- 6 試験開始後、30分間は退場できません。また、退場した方は、再び入場することはできません。
- 7 退場するときは、問題用紙を閉じ、この面を表にして各自の机の上に置き、忘れ物のないように静かに退場してください。
- 8 下欄に「受講番号」及び「氏名」を記入して開始の合図までお待ちください。

受講番号		氏 名	
------	--	-----	--

【植物防疫一般】

問1 植物防疫に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 植物防疫とは、農薬による病虫害防除のみを意味する。
- 2 近年の農業技術の発達により病虫害の発生は単純化しており、病虫害の発生状況はほぼ予測できるようになった。
- 3 総合的病虫害・雑草管理（IPM）は、農薬を多用し病虫害・雑草の発生の根絶を目指すことである。
- 4 海外からの病虫害の侵入及び国内でのまん延を阻止するため、植物防疫法に基づき植物検疫（輸入検疫、輸出検疫、国内検疫）が実施されている。

解答

問2 病虫害発生予察情報に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 重要な病虫害が大発生することが予想され、すぐにでも防除が必要な時に発表される「警報」は、岐阜県において毎年発表されている。
- 2 令和2年に岐阜県ではじめて「ツマジロクサヨトウ」の捕獲、発生が確認されたため、「注意報」が発表された。
- 3 「警報」を発表するほどではないが、重要な病虫害が多発することが予想され、早めに防除したほうが良い場合に発表するのは、「特殊報」である。
- 4 岐阜県において病虫害発生予察情報を発表するのは、「病虫害防除所」である。

解答

問3 無人航空機の利用に関する次の記述のうち、（ア）～（ウ）に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

無人航空機による農薬散布は、きめ細かな作業が可能で作業を省力化できることや、作業能率が高いなどのメリットがあるが、（ア）も求められている。

（ア）として、危害防止措置の徹底（養蚕、ミツバチ、魚類、周辺他作物、周辺施設等への飛散防止）、（イ）、散布区域への立入禁止措置など安全確保の徹底が必要である。

近年、ドローン等小型無人航空機や自動操縦による農薬等空中散布ニーズが高まるなか、農林水産省は令和元年度に「農薬の空中散布に係る安全（ウ）」を策定して農薬の安全かつ適

正な使用を図っている。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	安全対策の徹底強化	近隣住民等への事前周知	ガイドライン
2	より広い範囲での利用	近隣住民等への事前周知	指導指針
3	低コスト散布	効率優先の散布	指導指針
4	安全対策の徹底強化	効率優先の散布	ガイドライン

解答

【農薬取締法】

問4 次の文章は農薬取締法の第一条（目的）の部分である。空欄にあてはまる言葉の組み合わせのうち正しいものを選びなさい。

この法律は、農薬について（ ア ）の制度を設け、（ イ ）を行うことにより、農薬の安全性その他の品質及びその安全かつ適正な使用の確保を図り、もって農業生産の安定と（ ウ ）に資するとともに、国民の生活環境の保全に寄与することを目的とする。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	登録	販売及び保管の規制等	国民の健康の保護
2	登録	販売及び保管の規制等	食糧の安定供給
3	登録	販売及び使用の規制等	国民の健康の保護
4	届出	販売及び使用の規制等	食糧の安定供給

解答

問5 次の文章は農薬取締法の第二条（定義）の部分である。（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

この法律において「農薬」とは、（ ア ）（樹木及び農林産物を含む。以下「農作物等」という。）を害する菌、線虫、だに、昆虫、ねずみ、草その他の動植物又はウイルスの防除に用いられる（ イ ）殺虫剤、除草剤その他の薬剤及び農作物等の生理機能の増進又は抑制に用いられる（ ウ ）、発芽抑制剤その他の薬剤をいう。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	農作物	展着剤	成長促進剤
2	農作物	殺菌剤	成長促進剤
3	園芸作物	殺菌剤	除草剤
4	園芸作物	殺菌剤	成長促進剤

解答

問6 次の文章は、農薬の販売者の届出期間に関する規程である。(ア)～(ウ)にあてはまる語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農薬の販売者の届出は、新たに販売を開始する場合にあつてはその(ア)までに、販売所を増設し、又は廃止した場合にあつてはその増設又は廃止の日から(イ)に、届出に掲げる事項に変更を生じた場合にあつてはその変更を生じた日から(ウ)に、これをしなければならない。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	開始の日二週間前	二週間以内	二週間以内
2	開始の日	二週間以内	二週間以内
3	開始の日	二週間以内	10日以内
4	開始の日二週間前	二週間以内	10日以内

解答

問7 次の文章は、除草剤を農薬として使用することができない旨の表示についての、農薬取締法及び農水省令からの抜粋である。

(ア)～(ウ)にあてはまる語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

(農薬取締法第二十二条第二項)

除草剤販売者(除草剤の小売を業とする者に限る。)は、農林水産省令で定めるところにより、その販売所ごとに、(ア)に、除草剤を農薬として使用することができない旨の表示をしなければならない。

(農水省令)

法第二十二條第二項の規定による表示は、次のいずれにも該当する方法によりしなければならない。

- 一 表示に用いる文字が明瞭に判読できる（イ）であること。
- 二 表示に用いる文字の色が（ウ）と比較して鮮明でその文字が明瞭に判読できること

	（ア）	（イ）	（ウ）
1	公衆の見やすい場所	大きさ及び書体	背景の色
2	従業員の見やすい場所	大きさ	商品の包装
3	公衆の見やすい場所	書体	背景の色
4	従業員の見やすい場所	大きさ及び書体	商品の包装

解答

問8 次の、「農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令」で定められた農薬使用者の農薬の使用に関する責務のうち、誤っているものはいくつか。

- ・農作物等に害を及ぼさないようにすること。
- ・人畜に危険を及ぼさないようにすること。
- ・農作物等又は当該農作物等を家畜の飼料の用に供して生産される畜産物の利用が原因となって人に被害が生じないようにすること。

- 1 0
- 2 1
- 3 2
- 4 3

解答

問9 「農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令」で定められた農薬使用者が、ゴルフ場において農薬を使用しようとするとき、農林水産大臣及び環境大臣に提出しなければならない事項として正しい組み合わせはどれか。

- ア 当該農薬使用者の氏名及び住所

- イ 前年度のゴルフ場において使用した農薬ごとの量
- ウ 当該年度のゴルフ場における農薬の使用計画
- エ 前年度にゴルフ場を利用した人数

- 1 ア 及び イ
- 2 ア 及び ウ
- 3 イ 及び ウ
- 4 イ 及び エ

解答

【毒物・劇物取締法】

問10 毒物劇物取扱責任者に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 毒物劇物取扱責任者は、都道府県知事が行う毒物劇物取扱者試験に合格した者でなければならない。
- 2 農業用品目毒物劇物取扱者試験に合格した者は、すべての毒物及び劇物を取り扱う販売業の店舗の毒物劇物取扱責任者となることができる。
- 3 毒物劇物営業者は、自らが毒物劇物取扱責任者になる場合を除き、毒物又は劇物を直接に取り扱う店舗ごとに専任の毒物劇物取扱責任者を置かなければならない。
- 4 毒物又は劇物の販売業の登録のない店舗でも、毒物劇物取扱責任者の設置された店舗であれば、毒物又は劇物を販売することができる。

解答

問11 毒物又は劇物の取扱いについて、法第11条第4項の規定により「その容器として、飲食物の容器として通常使用されるものを使用してはならない。」とされているものとして正しいものを1～4の中から1つ選びなさい。

- 1 液体状の毒物
- 2 透明な毒物
- 3 刺激臭のない毒物
- 4 すべての毒物

解答

問12 毒物又は劇物の譲渡等に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から1つ選びなさい。

- 1 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を20歳未満の者に交付してはならない。
- 2 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を麻薬、大麻、あへん又は覚せい剤の中毒者に交付してはならない。
- 3 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物の名称及び数量、販売年月日、譲受人の氏名、職業及び住所を書面に記載すれば、毒物又は劇物を毒物劇物営業者以外の者に販売することができる。
- 4 毒物劇物営業者が、毒物又は劇物の販売又は授与に関し、法に定められる事項を記録した書面を保存しなければならないのは、毒物又は劇物の販売又は授与の日から3年間である。

解答

【食品衛生法】

問13 食品衛生法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 農業における採取業は食品等事業者に含まれない。
- 2 食品等事業者は、生産履歴、製造記録、販売記録等を作成し保存するよう努めなければならない。
- 3 食品等事業者は、販売食品の自主検査を行う必要はない。
- 4 食品衛生法では、農産物の栽培方法、畜水産動物の飼育方法について基準が定められている。

解答

問14 食品衛生法に定められている食品の規格又は基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 ポジティブリスト制度はすべての農薬が対象となる。
- 2 残留農薬の規制に加工品は含まれない。

- 3 残留農薬基準において、人の健康を損なうおそれのない量として厚生労働大臣が定める量は、0.01ppb である。
- 4 規格又は基準に合わない食品を輸入し、保存し、販売することはできない。

解答

【農薬一般】

問15 農薬の剤型別に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 粒剤とは、細粒（ $300\mu\text{m}$ ～ $1,700\mu\text{m}$ ）となるように製剤化したもので、水に懸濁させて使用する。
- 2 水和剤とは、水和性を有し、有機溶剤に懸濁させて用いる製剤である。
- 3 乳剤とは、農薬原体に乳化剤を加えた液体の製剤であって、水に乳濁させて用いる。
- 4 油剤とは、水に可溶の液体製剤であって、そのまま使用する

解答

問16 下記の文章で説明する農薬の用途別分類は何か、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

狭義には有害な昆虫（害虫）を防除する薬剤を指すが、広義には殺ダニ剤、殺線虫剤、貯穀害虫防除や畑地くん蒸に用いられるくん蒸剤も含まれる。

- 1 殺虫剤
- 2 殺菌剤
- 3 除草剤
- 4 殺そ剤

解答

問17 農薬科学の専門家が示す、求められる農薬に関する記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 標的外の生物に影響が少ないこと（選択性があること）。
- 2 残効性、残留性が顕著に長いこと。
- 3 高等動物に毒性が高いこと。
- 4 安易に購入できないよう、高価であること。

解答



問18 次の文章は、農薬の製剤化する目的を述べた文章である。（ア）および（イ）に当てはまる語句の組み合わせのうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農薬を製剤化する目的は、使用者（農家）が（ア）しやすいように農薬の物理化学的性質を改善することにあるが、同時に、製剤化することにより（イ）効果を高め、薬害を軽減し、また、使用者に対する安全性を高めることも重要な点となっている。

- | | （ア） | （イ） |
|---|-----|-----|
| 1 | 購入 | 宣伝 |
| 2 | 購入 | 防除 |
| 3 | 使用 | 宣伝 |
| 4 | 使用 | 防除 |

解答



【農薬安全性評価】

問19 農薬のリスクに関する次の記述で、（ア）と（イ）に当てはまる語句の組み合わせのうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

作物に散布された農薬のかなりの部分は土壌に落下し、その多くは土壌表面あるいは土壌表層で（ア）する。しかし、土壌表層部に長期間残留するようなことがあれば、後作物等への影響が考えられるし、一部は降雨等により土壌中から流出して（イ）を汚染する可能性も考えられる。

- | | （ア） | （イ） |
|---|-------|-----|
| 1 | 分解・消失 | 水系 |
| 2 | 残留・蓄積 | 水系 |

- 3 残留・蓄積 大気
- 4 分解・消失 大気

解答

問20 農薬のリスク評価に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 土壌中の半減期が50日を超える場合には、後作物の残留試験が要求される。
- 2 ヒトや有用生物に対する毒性を調べるために行われる毒性試験は、短期間に多量の農薬を摂取した場合の毒性（急性毒性）のみ行われる。
- 3 農薬の登録に際して、2020年（令和2年）4月より、農薬の毒性だけでなく、使用者の暴露も考慮した暴露量に基づく評価法が導入された。
- 4 現在、農薬の動植物に対する影響評価の対象は、水産動植物のみとなっている。

解答

問21 次の記述のうち、()に入る単位として、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農薬の残留基準値等で使用される単位「ppm」とは百万分の一という意味で、作物中の残留農薬では、1ppmは1kg中に含まれる1()の農薬に相当する。

- 1 ng
- 2 μ g
- 3 kg
- 4 mg

解答

問22 農薬の環境中における残留実態に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 河川等の公共用水域では、低濃度でも農薬が検出されることはない。

- 2 水田で使用する農薬、とりわけ栽培初中期に田面水に直接施用する農薬は、施用後の水管理や降雨によって水田から流出しやすい。
- 3 畑地や果樹園で使用する農薬は、概して流出量が多い。
- 4 水田農薬の場合、水田水中に溶出した農薬は水田土壌に吸着されることはない。

解答

【害虫防除】

問23 次の記述のうち、正しいものを1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 高濃度の薬剤を連続使用しても抵抗性を発生することはない。
- 2 I PM（総合的病害虫・雑草管理）では、農薬は使ってはならない。
- 3 コナガ、ハダニ類では、薬剤抵抗性の発達が見られない。
- 4 薬剤抵抗性が高まるとは、同じ薬剤の連用によって、集団における薬剤耐性を持つ個体の比率が高まり、薬剤が効果を示さなくなることである。

解答

問24 次の記述のうち、（ ）に入る語句として、正しいものはどれか。

「昆虫が、自分の体外へ発散して同種の他個体に生理的あるいは行動上の刺激を誘発する化学物質を（ ）と呼び、雌雄の間で性的刺激を誘発する（ ）を性（ ）という。一部の害虫では性（ ）をほ場に設置して害虫を誘引したり交尾を阻害することにより、害虫を防除するという利用法がある。

- 1 ホルモン
- 2 カイロモン
- 3 アロモン
- 4 フェロモン

解答

問25 次の害虫と関連する作物名および加害様式の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

	【害虫】	【作物名】	【加害様式】
1	ハスモンヨトウ	ダイズ	外部から茎葉部を吸汁する。
2	チャバネアオカメムシ	カキ	幼虫が果実内部に潜入食害する。
3	コナガ	トマト	外部から茎葉部を吸汁する。
4	モンシロチョウ	キャベツ	幼虫が葉を食害する。

解答

【病害防除】

問26 病原菌の伝染方法や病気の発生に関する次の記述のうち、正しいものを1～5の中から一つ選びなさい。

- 1 糸状菌は、孢子による空気伝染、遊走子による水媒伝染、菌糸による土壌伝染などが主な伝染方法である。
- 2 細菌は、風雨や管理作業等によって伝搬し、植物表皮組織を破壊して自力で植物に侵入する。
- 3 細菌は、孢子によって空気伝染する。
- 4 ウイルス病の感染には、アブラムシやウンカなどの昆虫は全く関係がない。

解答

問27 病害の発生に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から選びなさい。

- 1 植物は病原体（主因）がいれば、いつでも必ず病気になる。
- 2 植物の病気は、3つの要因（主因・素因・誘因）が揃った時に起こり、その程度は要因の相互作用で決まる。
- 3 誘因とは温度や湿度などの環境要因であるが、病害の発生に大きな影響は与えない。
- 4 植物の素質（素因）である抵抗性の利用は、あまり効果がなく経済的にも良い防除法とはいえない。

解答

問28 殺菌剤耐性と防除対策に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 薬剤の使用は、同系統の防除効果が高い薬剤を連用する方がよく、耐性菌も発生しない。
- 2 薬剤の使用は、他系統の薬剤とローテーション（輪用、交互使用）すれば、耐性菌は絶対に出ない。
- 3 FRAC とは殺菌剤耐性菌対策委員会の略で、薬剤使用ガイドライン等を公開している。
- 4 IPM（総合的病害虫・雑草管理）とは薬剤を使わない管理方法であり、殺菌剤耐性菌対策は重要ではない。

解答

【雑草防除】

問29 次の雑草のうち、多年生雑草を一つ選びなさい。

- 1 タイヌビエ
- 2 コナギ
- 3 アメリカセンダングサ
- 4 クログワイ

解答

問30 雑草の特性に関する記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 一般に、一年生雑草の多くは表面近くにある種子が発芽するが、多年生雑草はそれよりかなり深いところからでも発芽し、出芽時期も不揃いとなることが多い。
- 2 野菜等の畑地は、果樹園や非農耕地に比べ、多年生雑草の繁茂する割合が高い。
- 3 水田雑草は、水稻と養水分の摂取で競合するが、水稻の分げつが抑制されたり、根の張りが悪くなることはない。
- 4 水田ではキシウスズメノヒエなど、畑ではスギナなど茎の節から盛んに発芽する種類は、ロータリー耕で切断すれば、細断された茎が分散して増えることはない。

解答

問3 1 除草剤に関する記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 作物に害がなく雑草だけを枯らすことを選択性という。
- 2 水稲用除草剤の使用時期は、一般に代かきしてからの日数で表示されている。
- 3 一般的に残効期間は、茎葉処理剤が長く、土壌処理剤は短い。
- 4 水稲用除草剤には、粒剤のほか、ジャンボ剤やフロアブル剤といった剤型がある。

解答

【農薬安全使用】

問3 2 農薬に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 自家消費のために農産物を栽培し農薬を散布する場合には、「農薬を使用する者が遵守すべき基準」（農薬使用基準）に従う必要がない。
- 2 ゴルフ場での農薬使用者のみが、農薬使用計画書を農林水産大臣に提出する必要がある。
- 3 DDT、BHC、パラチオン等27種類の農薬は、「農薬の販売を禁止する省令」により販売が禁止されており、これらを使用することも罰則の対象となる。
- 4 農薬を使用した際に帳簿（使用記録簿）に記載するよう努めなければならない事項は、農薬を使用した年月日のみである。

解答

問3 3 農薬のラベル表示に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬の使用量や希釈倍率は、効果が確認された内容で定められているため、ラベルに記載された使用量・希釈倍率を遵守する。
- 2 同一の有効成分を含有する農薬は、製剤（剤型）が異なっても、適用農作物や使用方法是必ず同じであるため、ラベルの記載内容を確認する必要はない。
- 3 総使用回数は、農薬の商品ごとに定められているので、有効成分名まで確認する必要はない。
- 4 農薬の容器・包装のラベルには最終有効年月の表示があるが、最終有効年月を過ぎた場合でも品質に問題がないことから、それを使用しないよう努める必要はない。

解答

問34 農薬の安全使用に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 冷涼な場所で農薬を保管するために、食品と一緒に入っているが涼しい室内で保管したほうが良い。
- 2 手ぬぐいタオルをマスクの代わりに使用すると100%近く農薬が除去されるため、農薬散布時に手ぬぐいタオルを口にあてることで農薬用マスクの代わりとすることができる。
- 3 手袋は使い捨てをすることが望ましいため、軍手など布製のものを着るのが良い。
- 4 農薬（散布液）を調整する際にも、高濃度な農薬に触れることが多いため、マスク、手袋、保護メガネなどの保護具を必ず着用する。

解答

問35 農薬の使用上の注意点に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬散布は、ハウス内でなければ、日中の暑い時間帯に行っても問題はない。
- 2 施設栽培などで農薬散布を行う場合、できるだけ農薬を浴びないためには、前進しながら散布するよりも、後退しながら散布した方が良い。
- 3 農薬の容器が古くなった場合は、ペットボトルなどの容器に移し換え保管を行う。
- 4 農薬は人体に対する安全性が確認されているため、体調が優れない時に農薬に接触しても中毒になることはない。

解答

問36 農薬散布時の周辺住民への配慮及び飛散防止に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 公園・街路樹などで病虫害防除のために農薬を散布する際には、定期的な農薬散布を行わない代わりに、人への悪影響が大きくとも高い防除効果がある農薬を選択することが重要である。

- 2 住宅地やその周辺等で農薬を使用する場合、事前に周辺住民に対して農薬の使用目的、散布日時、使用農薬の種類等について、回覧板、チラシなどで十分に周知することが重要である。
- 3 ドリフト（飛散）低減ノズルは、散布粒径が大きいいため、風が強い日でも十分な飛散低減効果が期待できる。
- 4 散布圧力を高めて使用すると、散布粒子が粗くなり飛散しにくくなるため、飛散防止対策として有効である。

解答

問37 農薬散布時の環境への配慮及び作物残留に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 すべての農薬は登録に際して、家畜、ミツバチや蚕などの有用昆虫、水産動植物等への影響について、その安全性が確保されているため、それらに対して配慮する必要はない。
- 2 水田で使用する農薬は、決められた「止水日数」を守り、水系への流出を防ぐことが大切である。
- 3 農薬が周辺農作物に飛散した場合でも、速やかに分解されるため特に問題が生じることはない。
- 4 タンクやホース内に薬液が残っていても、農薬は速やかに分解されるため、農薬散布後にタンクやホースの洗浄をしっかりと行う必要はない。

解答

【農薬管理指導士の任務】

問38 農薬管理指導士に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬管理指導士は、農薬取締法に基づく調査権限がある。
- 2 農薬管理指導士は、農林水産省が認定しており、名称も全国共通である。
- 3 農薬管理指導士は、農薬販売者、農家、ゴルフ場の農薬使用者などに指導・助言を行い、農薬の安全かつ適正な使用の推進に当たることが任務である。
- 4 農薬管理指導士は、一度合格すれば更新の必要はない。

解答



問39 農薬管理指導士に求められる資質に関する次の記述のうち、(ア)～(ウ)に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農薬管理指導士は、その任務を確実に実行するために、常日頃から自らの資質の維持・向上に努めることが必要とされる。農作物などの(ア)に不可欠な農薬が、いかにしてその(イ)が確保されているかを理解し、農薬の適正使用に関する認識を深めた上で、農薬取締法など関係法令、農薬の特性、(ウ)、害虫・雑草の発生生態や防除に関することなど、農薬全般に関する一般的な事項についても十分な知識を有することが求められる。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	生育	緊急性	農薬の販売方法
2	安定的な生産	採算性	農薬の販売方法
3	生育	生産性	農薬の適正使用方法
4	安定的な生産	安全性	農薬の適正使用方法

解答



【最近の動向】

問40 次の文章は、農業生産工程管理(GAP)の定義について述べたものである。(ア)から(ウ)に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農業生産工程管理(GAP)とは、農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる(ア)に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、(イ)、点検及び評価を行うことによる持続的な(ウ)である。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	防除項目	確認	農業活動
2	点検項目	記録	改善活動
3	防除項目	記録	農業活動
4	点検項目	生産	改善活動

解答

